



TOKYO VICEで 困難を克服

国際的な作品を日本で撮影するための創造的なテクニカルソリューションを見つけ出す

私たちのパートナーへの感謝を込めて:



WOWOW



A man with dark, wavy hair, wearing a dark suit, light blue shirt, and striped tie, is shown from the chest up. He is holding a silver mobile phone to his ear with his right hand. The background is a blurred city street with many people walking, suggesting a busy urban environment. The entire image is framed by a blue border.

max

max ORIGINAL

TOKYO VICE

OFFICIAL TRAILER



TOKYO VICE
シーズン1:
2020~2021年



シーズン1 すぐに終わることのない長いマラソン…

過酷な状況での 全8話の制作

- ・ 米国のテレビシリーズでは初めての全編オール日本ロケ
- ・ 8時間のテレビドラマ
- ・ 現地の映画プロダクションに比べて4倍の規模
- ・ 新型コロナウイルス感染症の制約！
- ・ 国境閉鎖で主要クルーが日本に入国できなかった

物事の進め方がまったく 違うことをすぐに学んだ

- ・ 例：第2ADとロケマネの働き方が異なる
- ・ ロケ地の許可取得が難しく、時間がかかる
- ・ ステージスペースが狭い

戦略

- ・ 1週間の撮影スケジュールを「日曜～木曜」に変更し、主要ロケ地へのアクセスを確保
- ・ 貴重な人脈を得た。
例：東京都知事や国会議員
- ・ 現地クルーに権限を与える

その他の課題：

- ・ ビザ
- ・ 異なる言語と労働スタイル（米国の労働組合を含む）
- ・ 会計プロセス
- ・ 限られたクルー
- ・ 脚本の翻訳
- ・ 撮影スケジュール



TOKYO VICE
シーズン2:
2022～2023年

毎日が冒険…

今回は全10話！

- ・ 予定よりも日数とロケ地が増え、キャストとクルーにクオリティが要求される長丁場となった

クルーとスタジオのスケジュールで大きな問題が発生：

- ・ S1のフリーランスクルーは他の場所で働いていた。代替りの選択肢は限られていた。
- ・ クルー人材基盤を拡張するため、新規参入者のトレーニングを増やした
- ・ 利用できるスタジオがなかった - 富士山近くの元体育館を利用

成功したシーズン1に続き、初の国際的プロダクションとしてのプレッシャー：

- ・ 多くの教訓を学び、それを実行に移した！
- ・ 例 赤坂エスプラネードやアメリカ大使館など、今まで未公開のロケ地確保に大成功

業界団体や政府機関のサポートが鍵だった

- ・ JFC
- ・ VIPO
- ・ JLOX METU日本ロケ地インセンティブプログラムの創設



未来

- 今が実行する時 - 世界が日本に注目しており、かつてないチャンス。
- 高い関心 - ほぼ毎週、新しいプロジェクトが生まれ、問い合わせが殺到
- ロケインセンティブは大きな違いを生むので、それを支援し、発展させる必要がある
- どうすればプロデューサーが日本で制作しやすくなるか？
 - クルールの訓練
 - スタジオスペースとインフラの整備
 - 国際的に標準化されたソフトウェアの導入
- TOKYO VICEは未知の困難を乗り越え、永遠の遺産を得た

ありがとうございました

